

## 模擬国連への挑戦の道 part1 (Communicative Skills 育成プログラム)

9月17日(土)、第16回全日本高校模擬国連大会・予選会に参加しました。

厚木高校初となる、模擬国連への挑戦！予選会当日の様子をレポートします。

### 模擬国連とは？

模擬国連とは、高校生の参加者が各国の大使(外交官)になりきり、実際の国連の会議や国際会議を模擬する活動です。この活動を通じて、国際政治の仕組みや国際問題の複雑さを理解することができます。

### 論点

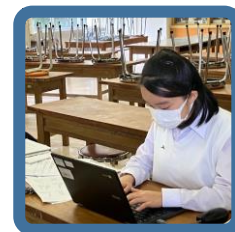
今年度、予選会の論点は、①コロナ禍における移民の権利、②非正規移民への対応の2点でした。

### 準備は大変？

想像を絶する程多く、文献やリサーチペーパーの読み込みが必要で、夏休み前からかなりの時間をかけて準備に費やした参加者の2人。参加国22か国のデータを分析した資料なども作成しました。担当国だけでなく、日本における移民問題についても詳しくなり、ニュースを見ている、「国連」「移民」という言葉に反応するようになったそうです。

### 本番！！

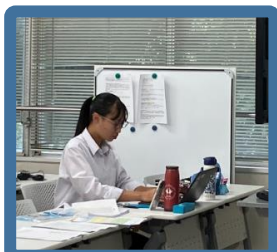
いざ、本番へ！予選会は、模擬国連史上初めての、オンライン開催でした。事務局の皆さんによる丁寧な解説書のおかげで、初参加ながらも、流れは理解していましたが、それでも本人たちは緊張！！



2人は別々の役割を持って、目的の参加国と対話しています。

しかし、いざ始まってしまえば、担当国代表としてはっきりと主張をし、また、他国の意見もしっかり聞いて、意見をまとめることができました。

他の参加者の中には、話し合いのリードを積極的にとるチームがいたり、会議の流れを冷静に見極めて、文書の作成に向けて動くチームがいたり、とても勉強になりました。



2分間の英語スピーチもやり切りました！

予選に参加した22チームの内、本選に進むことができるのは6~7チームのみ。結果は10月初旬に出る予定です。

今回の活動によって、外交官という仕事がより身近に感じられ、国際問題に対する興味も増した2人。結果に関わらず、彼らの将来の可能性が、この活動を通じて少しでも広がることを期待しています。

レポートPart2では予選会の結果と、2人の感想をお届けします！